

旗ポール・車止めのトップメーカー、サンポール（本社＝広島市、山根以久子社長）は10月、会社設立時から製造しているハンドル型旗ポールがカプセルトイとして発売された。同社を代表する



ラインアップは全8種

ハンドル型旗ポール

サンポール、カプセルトイで発売

製品をカプセルトイにして一般の消費者にも触れてもらうことで、製品や企業認知度の向上につなげたい考えだ。

ハンドル型旗ポールはサンポール設立のきっかけとなった製品。風に吹かれた旗がポールに巻き付きにくい構造になっており、建築物などを撮影する写真家のアイデアから生まれた。

カプセルトイは、ハンドル型旗ポールを24分の1スケールで再現した。全8種類をラインアップし、旗やポール上部の先端部分のデザインが異なる。10月6日から全国の商業施設や小売店に併設するカプセルトイコーナーなどに順次設置されて

おり、1回400円で遊べる。

組み立て式となっており、完成後の高さは270センチ。素材はプラスチック。土台の裏面から出ているひもを引っ張ることで、旗の昇降もできる。カプセルの中にはおまけとして、同社ロゴセラール商品の小鳥が乗った車止め「ピコリーノ」も付属する。

同社の製品がカプセルトイになるのは2回目。カプセルトイが好きな従業員の提案から実現した。今年1月にピコリーノが金属製のカプセルトイになり、ヒット商品となった。旗ポールや車止めは

全国の多くの場所で採用されているが、人が立ち止まって注目して見ることは少ない。会社設立のきっかけとなったハンドル型旗ポールと同社の広告塔でもあるピコリーノの2製品をカプセルトイにすることで、製品と企業の認知度向上を図る。

サンポールは1970年設立。金属製の旗ポール、車止め、環境エクステリア製品などを製造し、それぞれ業界トップシェアを誇る。今後も「外部空間を豊かにクリエイトする演出者を経営理念に、笑顔であふれる街づくりに貢献する製品開発を続けていく方針だ。